2年 学年だより

第１７号
平成31年 3月26日
大殿中学校２年部

～1年の終わりに、先生より生徒のみなさんへ～

この１年間長いようで短かったように思います。８３名の生徒のみなさんとの生活を振り返るとともに、３年生での活躍に期待をこめてメッセージを送ります。

自分にとってはみんなと新たに出会い、あっという間に過ぎた一年でしたが、みんなにとってはどんな一年だったでしょうか？
春休みの間に来年の今頃は、どんな自分で大殿中学校から羽ばたいていくかを思い描き、そのための新たな一歩を踏み出す準備をしてください。一年間、お疲れ様でした。

徳田　大輔

１年間お世話になりました。大殿中に来て本当にあっという間に1年間が経ちました。いよいよ、最高学年になりますね。１年前の自分と比べてどうですか。１年後の自分はどうなっていますか。他人と比べるのではなく、昨日の自分と比べてどれだけ成長できているかが大切です。ライバルは昨日の自分です。今後のさらなる成長を期待しています。

渡邉　博信

「志を立ててもって万事の源となす」立志式に向けて、熟語を選び、原稿を考え、自分の言葉で発表したみなさんの堂々とした姿に、確かな成長と今後の可能性を感じました。さあ、次は実行です。失敗を恐れず、仲間とともに、実現に向けて前進していきましょう。

相本　悦子

皆さんが1年生だった昨年度、月に一度程度、吾妻先生が出張のときにきていました。覚えていますか？そのときの皆さんの印象が、今では、だいぶ変わりました。自覚はないかもしれませんが、一人ひとり、かなり成長していますよ！中学校生活あと１年。あとどれぐらい成長できるか、楽しみです。14歳の可能性は無限大！あきらめず、へこたれず、たくましく！！そして、仲間を大切に！

古谷　美智香

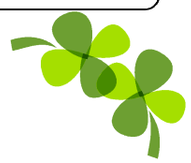
みなさんと直接関わったことは少なかったですが、君たちのパワーに圧倒されました。３年生になっても、勉強にスポーツにがんばってください。

芦田　文雄

先輩方の背中を見つつ後輩に寄り添う一年間だったのではないでしょうか？次は、大殿中学校を引っ張っていく最上級生ですね。一年後に、いい中学校生活だったと思える、そんな一年にしてほしいと思います。

笠間　美由紀

卒業式の祝辞の中で、「一日生きることは、一歩進むことでありたい」（湯川秀樹、ノーベル物理学賞受賞）という言葉の紹介がありました。これからの１年間、自分の目標に向かって着実に歩みを進めてもらいたいと思います。

佐々木　勝朗

保護者の皆様、１年間ご協力ありがとうございました。
私たちも一生懸命がんばってきましたが、十分でなかった点もあったのではないかと反省しています。新年度も全力でがんばりますので、どうぞよろしくお願いします。